

カジノの反省なく、山下ふ頭再開発を進める横浜市に対し、 「市民代表が入る事業計画検討委員会」の設置を求めます。

－ 市民による市民のための山下ふ頭を求める呼びかけ －

カジノに反対する市民運動の力で山中市長が誕生し、カジノを止めることができました。その後、山下ふ頭をどうするか、市民意見募集・ワークショップを経て、山下ふ頭再開発検討委員会で1年間余り審議、市民から8回にわたり延べ10,443件の意見が提出され、昨年12月26日まちづくりの方向性について「答申」が市長に渡されました。

でも皆さん、山下ふ頭にどんな物ができるのかご存じですか？答申を見ても多くのことが書かれていて、それをイメージすることができないのです。また、答申の内容をよく調べてみると、2015年に前林市長の時に出了された山下ふ頭再開発基本計画にそっくりなのです。

募集した市民意見や、ワークショップで出された意見はどこに生かされているのでしょうか。カジノの時、横浜市は市民の声を聞かなかったから計画が頓挫しました。その時の反省をふまえるなら、山下ふ頭の事業計画づくりは、事業計画策定の最初の段階から市民代表が入る事業計画検討委員会を設置することは、必須の条件となります。

行政の仕事はお金を稼ぐことではなく、お金を有効に使って市民の健康や生活、文化を向上させることです。

山下ふ頭は「市有地」で、市民の共有財産です。そこをどうするかは、市民が決めることです。カジノを止めた市民には、山下ふ頭の未来に声を上げる権利と責任があるのです。

市民代表の決め方は、公募するという方法、無作為に抽出する方法など、工夫すれば可能です。まずは、「市民代表が入る事業計画検討委員会の設置」を求めて、一人一人が声を挙げましょう！

署名は横浜市民ではなくても、誰でもできます。

名 前	住 所

<連絡先> 市民による市民のための山下ふ頭を求める会（準備会）



shiminniyoru.shiminnotameno@gmail.com



市民による市民のための山下ふ頭を求める会HP

<https://shiminnotameno-yamashitafuto.studio.site/>

HP QRコード

